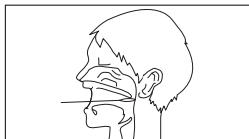


## ■ 検体採取

## 咽頭ぬぐい液



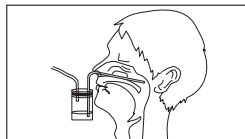
キット付属のスワブで  
検体採取します。

## 鼻腔ぬぐい液



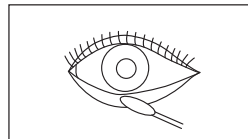
別売りの鼻腔用スワブで  
検体採取します。

## 鼻腔吸引液



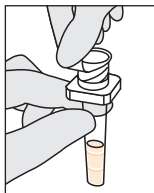
キット付属のスワブを湿します。  
マイクロピペット等で採取する  
場合は、生理食塩水で2倍希釈  
し、200 $\mu$ Lを採取します。

## 角結膜ぬぐい液

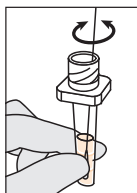


キット付属のスワブで検体採取します。

## ■ 試料調製

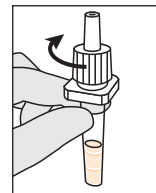


検体抽出液の容  
器のアルミニ  
ウムを液が飛び  
散らないように  
剥がします。



検体採取後のスワブを検体抽出液に  
浸し、容器の外側からスワブの頭部  
を軽くつまみ5回以上左右に回転  
させ、上下に動かし攪拌します。  
抽出後、容器の外側からスワブ  
の頭部をつまみ、試料を絞り出す  
ようにスワブを引き抜き、試料と  
します。

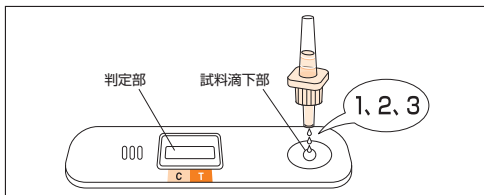
(生理食塩水で2倍希釈した鼻腔吸引液  
を使用する場合は、200 $\mu$ Lを検体抽出  
液に加えてよく混和し、試料と  
します。)



検体抽出液の容  
器の上端に付  
属のノズルを  
被せてしっかりと  
閉めます。

\*輸送培地又は生理食塩水を用いる方法については、添付文書をお読みください。

## ■ 試料滴下



検体抽出液の容器の中ほどをつまみ、  
テストプレートの試料滴下部に  
試料3滴を滴下します。

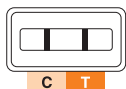
**注意**  
テストプレートは開封後  
すぐに使用してください。

## 注意事項

- ① 滴下するとき、検体抽出液の容器は垂直に保持し、ノズルの先端が試料滴下部に触れないよう注意してください。
- ② テストラインは、ラインの濃淡に関わらず、目視で確認できれば陽性です。
- ③ ラインは色分けにより区分されている各判定部内であれば、その位置にかかわらず有効です。
- ④ フィルターに目詰まりするほどの強粘性の試料は、生理食塩水で2倍希釈して使用してください。
- ⑤ 抗原量が非常に多いと考えられる場合には、新しい検体抽出液1本に対して試料を3滴滴下し、希釈調製したものを試料としてください。
- ⑥ 鼻腔用スワブ、吸引器等はキットに含まれておりません。
- ⑦ 鼻腔ぬぐい液、咽頭ぬぐい液の一部を他の試験に使用する方法については、添付文書をお読みください。
- ⑧ 滴下量が多すぎた場合には、本品の測定原理から白金-金コロイド標識抗体が希釈されることにより反応が遅延し、判定時間内に判定部 [C] 及び/又は [T] にラインが認められない、又はラインが薄くなる場合があります (偽陰性)。

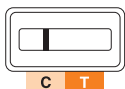
## ■ 判定

3~8分



陽性

8分



陰性